

枝がらみ

確認したっけ？



伐倒の際その他作業中に危険を生ずる
おそれのあるものを取り除きましょう



かん木



枝条



つる



浮石 等

令和6年8月 伐倒業務中

死亡災害発生

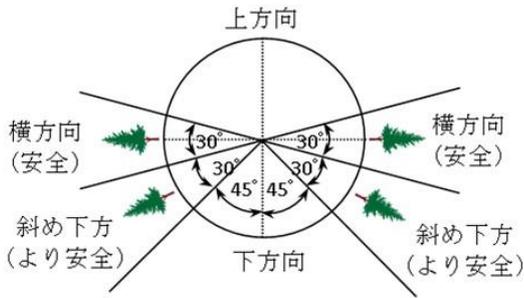
チェーンソーを用いて伐倒業務を行っていた被災者が休憩を取りに来ないので、同僚が確認に行ったところ、伐木の横で、別の腐食した倒木の下敷きになっている被災者を発見した。



チェーンソー作業前のチェック！

- ① 林道、歩道等の通路及び周囲の作業者の位置、地形、転石、風向、風速等を確認すること。
- ② 立木の樹種、重心、つるがらみや枝がらみの状態、腐食した木の有無、頭上に落下しそうな枯れ枝の有無等を確認すること。
- ③ 安全な伐倒方向を確認すること。なお、伐倒方向は、斜面の下方向に対し、45度から105度までの方向を原則とし、このうち45度から75度までの間の斜め方向が望ましいこと（下図参照）。
- ④ かん木、枝条、ササ、つる、浮石等で、伐倒の際その他作業中に危険を生ずるおそれのあるものを取り除くこと。あわせて、跳ね返りによる危険が生じる可能性のある立木、枝、枯損木等についても取り除くことが望ましいこと。

木材伐出機械等も検討しましょう



チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン



作業計画の様式もこちらから

(別添1)

チェーンソーを用いて行う伐木作業・造材作業に関する作業計画

調査・記録：令和 年 月 日
 作成：令和 年 月 日
 第 回改定：令和 年 月 日

事業者名	
調査・記録職氏名	
計画作成者職氏名	

作業を行う場所・作業の方法の概略図

※ 緊急車両の走行経路、携帯電話等・無線通信による通信が可能である範囲等を記入することが可能であること。
 なお、既に、作業を行う場所を示す図面(事業図、森林図、地籍図等)を作成している場合には、本様式に添付することにより記入を省略することとして差し支えないこと。

事業場(現場・団地)名	
作業場所(林班等)	
作業班名	
作業責任者名・連絡先	
作業期間	自 令和 年 月
①地形の状況	(傾斜) 平地 (傾斜地の場合) 急傾斜 (斜面の向き) 日照よい
②地質・水はけの状況	(岩石・崩壊地) (転石・浮石) (水はけ) よ
③埋設物・架空線の近接の状況	(埋設物) 無 有 (架空線) 無 有
④伐倒対象の立木の状況	(樹種) スギ ヒノキ (樹齢) (大きさ) 胸高直径 (大きさのばらつき) 多 (立木の密度) 密
⑤つるがらみ、枝がらみの状況	(つるがらみ) 無 (枝がらみ) 無
⑥枯損木等の状況	(枯損木) 無 有 (風倒木) 無 有
⑦下層植生の状況	(かん木) 密 中間 疎 (※留意点) (草本) 密 中間 疎 (※留意点)
⑧作業の方法	チェーンソーの使用 車両系木材伐出機械の使用 その他 ()
⑨伐倒の方法	間伐(定性 列状) 皆伐 択伐 切捨て その他 ()
⑩伐倒の順序	尾根部から谷部へ 谷部から尾根部へ その他 ()
⑪かかり木の処理の方法	車両系木材伐出機械 フェリングレバー ロープ その他 ()
⑫退避場所設定標示	テープ表示 その他 ()
⑬立入禁止設定標示	標識看板 縄張り カラーコーン その他 ()
⑭合図の方法	笛 トランシーバー 手旗 その他 ()
⑮伐倒木等転落・滑動防止措置	杭止め 支柱 下方の立入禁止 その他 ()
⑯その他安全対策	

作業計画は 書面でバッチリ！

作業班	作業名	チェーンソー使用有無	チェーンソーメーカー	台数
		有 無		
		有 無		
		有 無		
		有 無		
緊急時の対応	⑪緊急車両の走行経路、緊急連絡先	林班 小班	GPS精度： 経度：	病院(電話)
	⑫携帯電話等・無線通信による通信可能範囲	消防署(電話)	緊急車両待合せ場所(林道等名称・位置)	会社(〇〇事務所)(電話)
	⑬備考	林道等名称・位置		

(※1)各欄については、作業の実態に応じて、〇印などにより、該当する複数の項目を選択することとして差し支えないこと。
(※2)記入に当たっては、計画の実態に即した内容を記入すること。必要に応じて、項目の名称、記載事項の変更等を行うこととして差し支えないこと。また、「記入例」、裏面の「記入に係る留意事項等」を参考にする。